

## はじめに

ベトナムは、世界の約150カ国・地域と貿易関係を有し、2006年は、輸出395億ドル、前年比22%増、輸入444億ドル、前年比16.7%増、輸出入合計では839億ドルとなり、18.7%以上前年度を上回りました。

外国投資の分野では、各国の政府開発援助が活発です。2007年は過去最大の44億5000万ドルに上る見込みです。ベトナム政府は、これらの開発援助を活用し、鉄道、道路、港湾など公共インフラ整備事業を促進しています。米国をはじめ各国の企業はベトナムに対する投資を活発化させ、エネルギー関係、不動産、鉄鋼、観光、ホテル等多岐にわたる投資を行なっています。

日越関係では、2006年はアセアン諸国と日本との関係でさまざまな国際会議が持たれ、活発な人事交流が行なわれました。ベトナム政府は、2006年7月、ファン・バン・カイ首相の後を継いだグエン・タン・ズン首相が10月に来日し、相互の信頼関係を基礎に引き続き戦略的パートナーとして、関係強化を確認しました。又、貿易と投資の環境整備のために、ベトナムに進出している外資系企業との会合を引き続き定期的に行ない、逐次改善を進めています。

### 2006年度の日越間取引額

輸出	481,507,891 千円	前年度比	21.48%増
輸入	615,559,275 千円	前年度比	22.71%増
合計	1,097,067,166 千円	前年度比	22.17%増

2006年の取引は、輸出入総額が前年度に比べて22.17%増となりました。特に輸出入共に20%以上の伸びとなった事が注目されます。原油の国際価格の上昇と水産物、医療関係の輸入が堅調でしたが雑貨、民芸品等は国際競争にさらされ、伸び悩みました。ベトナム側は農産物とその加工品の輸出に力を入れているので今後の課題です。日本側の輸出は、ODA関連機材、ベトナム進出企業の操業度

の向上で、集積回路、組み立て部品、車、発電所機材、鋼材、家電の組み立て部品などが増えました。

2006年、15日間以内の渡航についてビザ免除になったことにより観光旅行客が増大しました。外国人旅行者は延べ292万7876人で、前年比20.5%増、内日本人は32万人で前年比19.7%増でした。業界関係では、ベトナムへの投資合併事業や経済刷新の状況視察の交流が目立ちました。政府はベトナムからの留学生、専門家の枠を拡大し、人事育成を促進しています。

日本航空とベトナム航空間の協定で関西空港とホーチミン市間に直行便が就航されて7年になり、成田 ハノイ直行便の就航、福岡とホーチミン市間に直行便が就航することになり、一層便利になり、便数も増え便利になりました。

鳥インフルエンザの克服に努力していますが、今後もWHOや関係機関の協力の下で沈静化させ、安定した状態に復活させることが重要です。

ベトナム統計年鑑は1999年版より刊行し、8年目となりました。関係各位に感謝いたします。

2008年7月

日越貿易会

専務理事 宮内 寛